

テレビ番組の録画に関する
マーケティングデータ
～録画意識と見逃し視聴篇～

朝日大学マーケティング研究所

調査概要

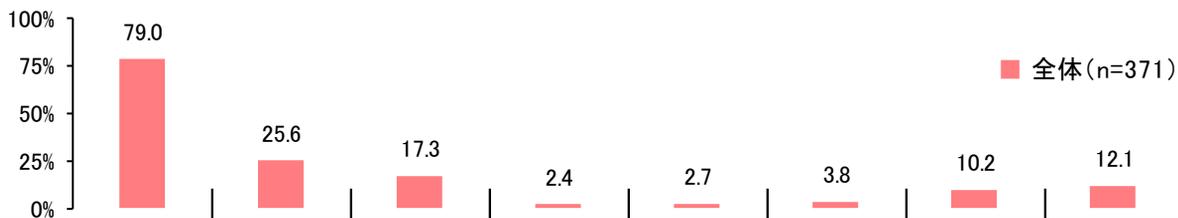
- 調査方法 Webアンケート
- 調査期間 2016年7月29日(金)～8月8日(月)
- 調査対象 首都圏在住の13歳～69歳男女で、かつ、自宅でテレビ番組を観ている人
- 有効回答 合計480名(均等割付)

年代	男性	女性
13～19歳	40名	40名
20～29歳	40名	40名
30～39歳	40名	40名
40～49歳	40名	40名
50～59歳	40名	40名
60～69歳	40名	40名
合計	240名	240名

※内、最近3ヶ月以内にテレビ番組の録画をした人371名

テレビ番組の録画・再生時に使う機能

※最近3ヶ月以内にテレビ番組の録画をした人



	調査数	録画した番組を再生するときはCMを飛ばす(自動CM飛ばし機能も含む)	録画した番組を再生するときは倍速再生などを使って早回しで観る	録画した番組をDVD等に保存したり、自動削除されないように保護して、保存版をつくっている	録画した番組をスマートフォンやタブレット等に移して、外出時に見ている	録画した番組を家庭内ネットワークで共有(ソニー、DLNAなど)している	キーワード自動録画や多チャンネル全録画機能を使っている	追っかけ再生機能を利用している	あてはまるものがない
全体	371	79.0	25.6	17.3	2.4	2.7	3.8	10.2	12.1
男性	192	77.6	22.9	18.8	2.1	3.1	3.1	8.9	13.0
女性	179	80.4	28.5	15.6	2.8	2.2	4.5	11.7	11.2
男性10～20代	65	90.8	20.0	18.5	1.5	1.5	1.5	7.7	4.6
男性30～40代	63	71.4	25.4	19.0	1.6	3.2	4.8	7.9	15.9
男性50～60代	64	70.3	23.4	18.8	3.1	4.7	3.1	10.9	18.8
女性10～20代	65	93.8	21.5	10.8	1.5	1.5	6.2	10.8	4.6
女性30～40代	61	67.2	24.6	13.1	4.9	3.3	3.3	8.2	21.3
女性50～60代	53	79.2	41.5	24.5	1.9	1.9	3.8	17.0	7.5

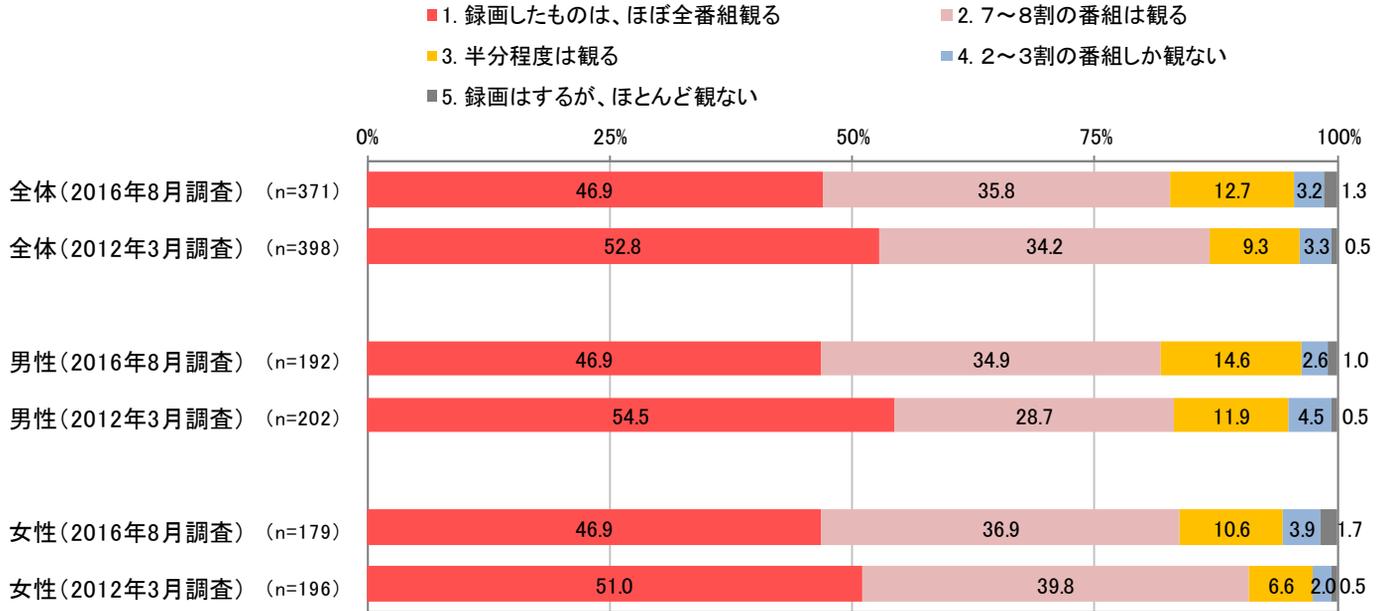
1. 録画番組の消化率

一週間で録画する番組数は平均6.80、うち、再生するのは5.67番組。

- 録画したテレビ番組をどの程度観ているかを訊くと、全体の46.9%が「録画したものは、ほぼ全番組観る」と回答した。
- 2012年3月の調査と比較すると、再生する割合がやや下がっている。
- 一週間で録画する番組数を訊くと、全体で平均6.80番組となった。女性の方が、男性よりも録画する番組数が多い。女性50～60代は一週間で平均10番組以上録画しており、他の性年代よりも多い。
- 一方、一週間で再生する番組数は平均5.67で、消化率は83.4%であった。

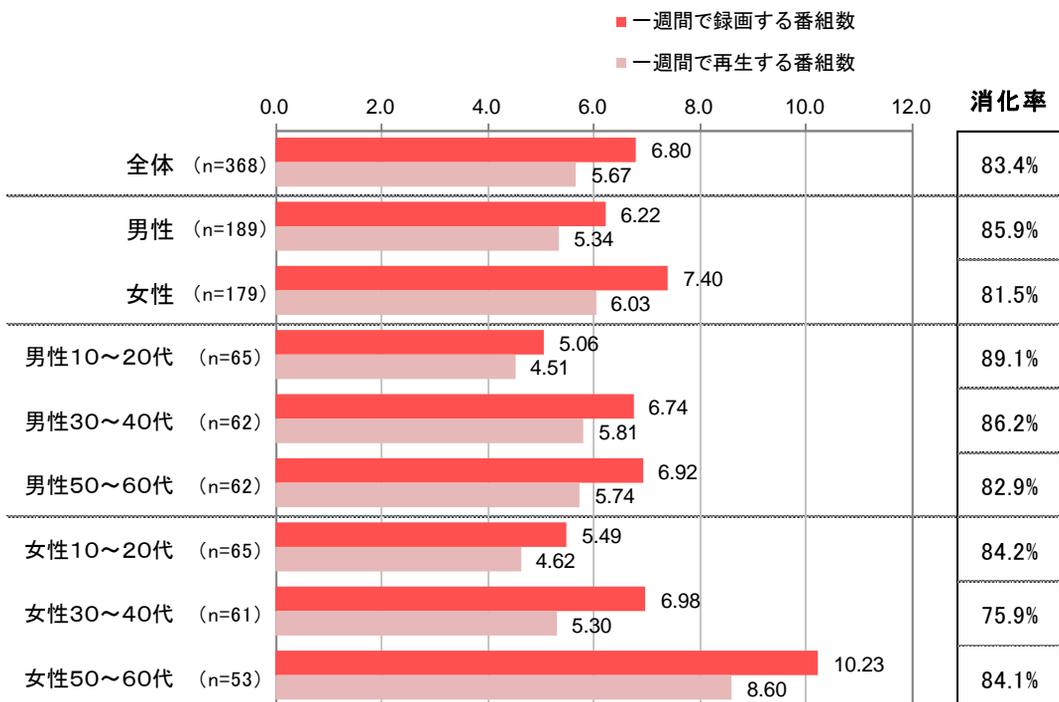
録画したテレビ番組の消化率

※最近3ヶ月以内にテレビ番組の録画をした人 → 以降、すべての表・グラフにおいて同じ



一週間で録画する番組と再生する番組の数

※「0」も計算に含めた全部平均、外れ値3名を除外



2. テレビ番組録画の意識①

好きな番組を録画し、一人で再生するが、何度も見るわけではない。

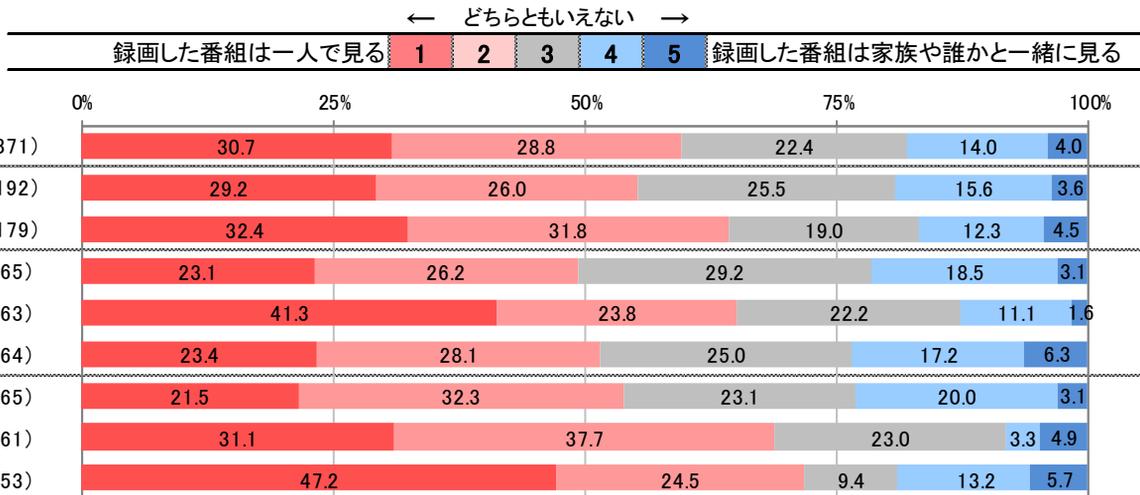
■テレビ番組の録画についての意識を、6つの項目について訊くと、「誰と見るか」では、全体では「録画した番組は一人で見る」が優勢となった。女性の方が、男性よりも一人で見る傾向があり、50～60代女性では特に顕著となっている。

■「繰り返し見るか」では、「一度見た番組は繰り返し見ない」が優勢であり、男性も女性も50～60代はその傾向が強い。

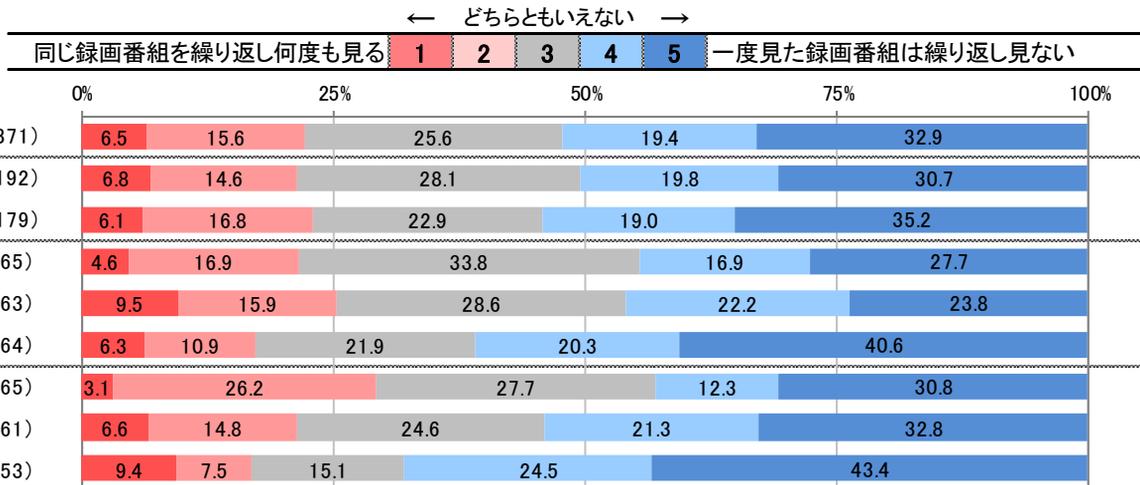
■「好きな番組を録画してから見るか」では、「好きな番組は録画して見る」が優勢である。

テレビ番組録画の意識(各5段階)

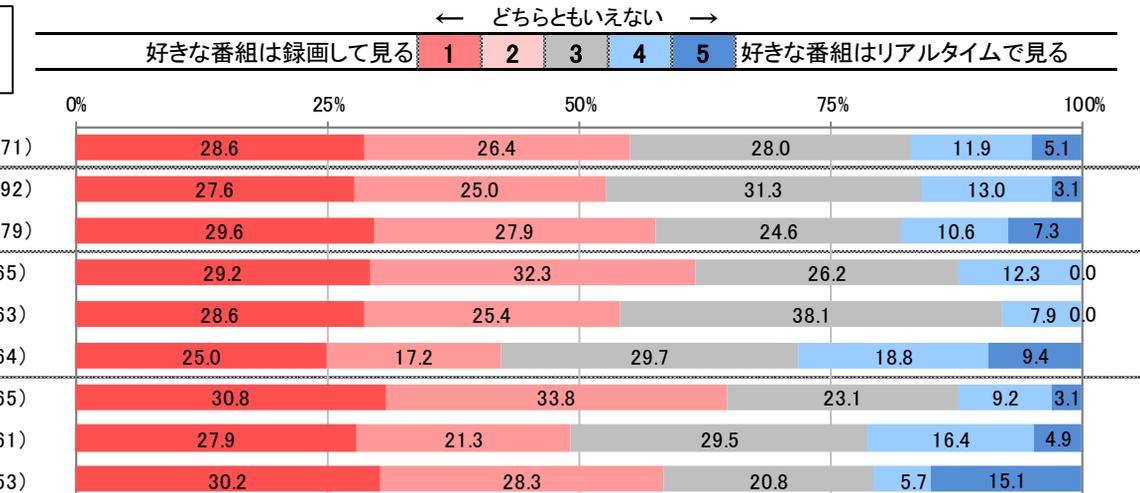
誰と見るか



繰り返し見るか



好きな番組を録画してから見るか



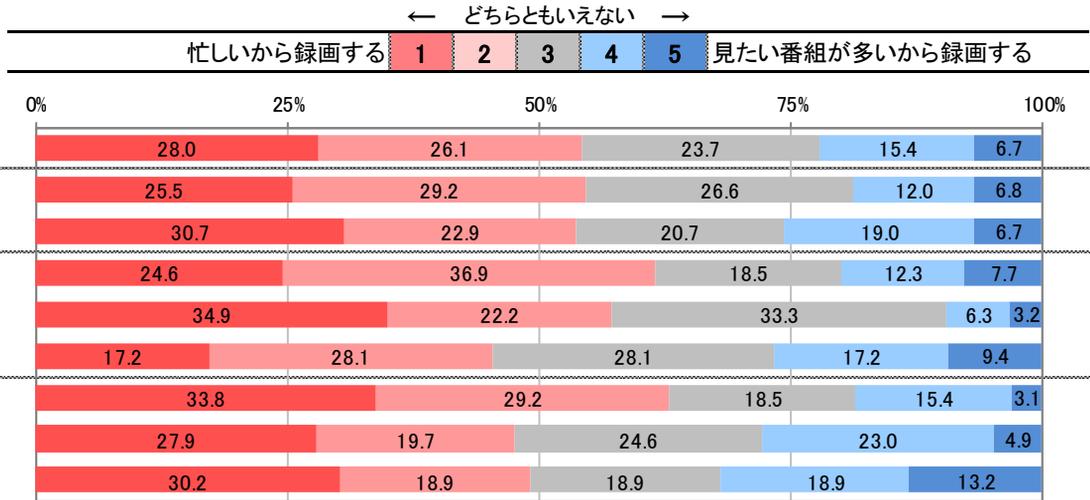
3. テレビ番組録画の意識②

見られない時間帯で、気になるものがあれば録画する。

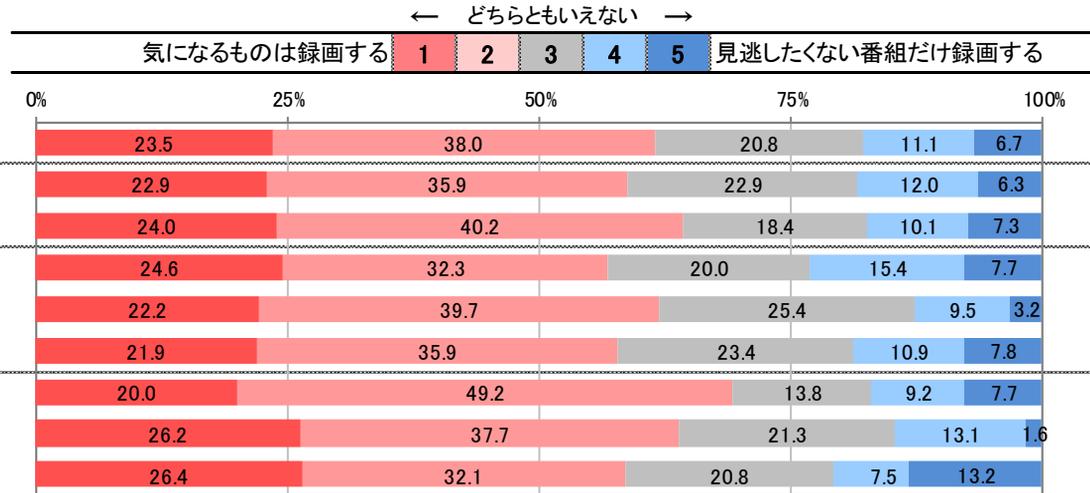
- 「録画する理由」では、「忙しいから録画する」が優勢である。「見たい番組が多いから録画する」は、50～60代は比較的高い。
- 「録画する番組の基準」では、「気になるものは録画する」が多く、録画することのハードルは低い様子が見られる。
- 「録画する状況」では、「外出中・深夜などリアルタイムで見られない時間帯の番組を録画する」が優勢であり、若い世代ほど、その傾向が強い。

テレビ番組録画の意識

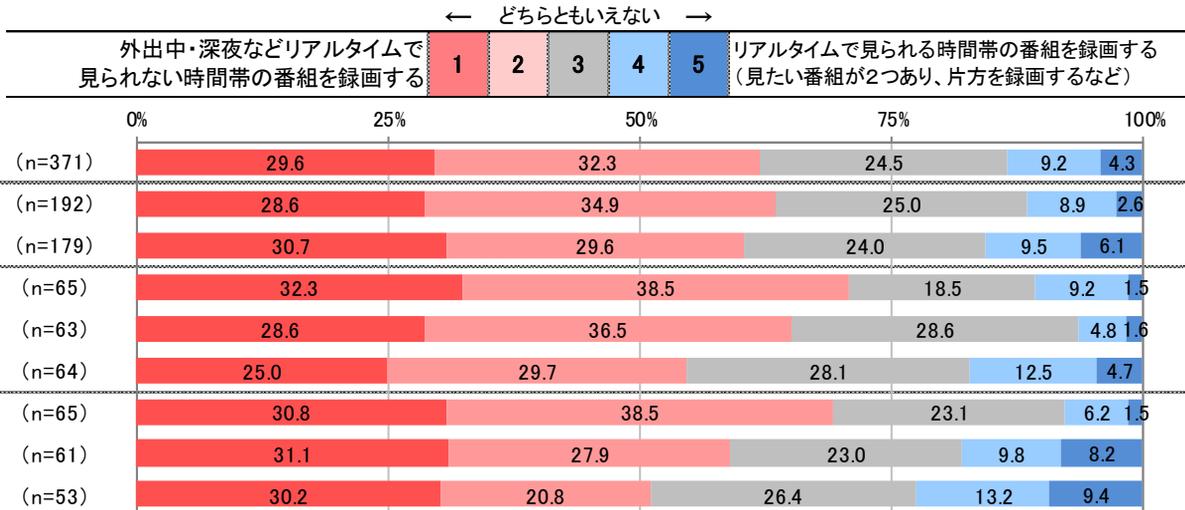
録画する理由



録画する番組の基準



録画する状況

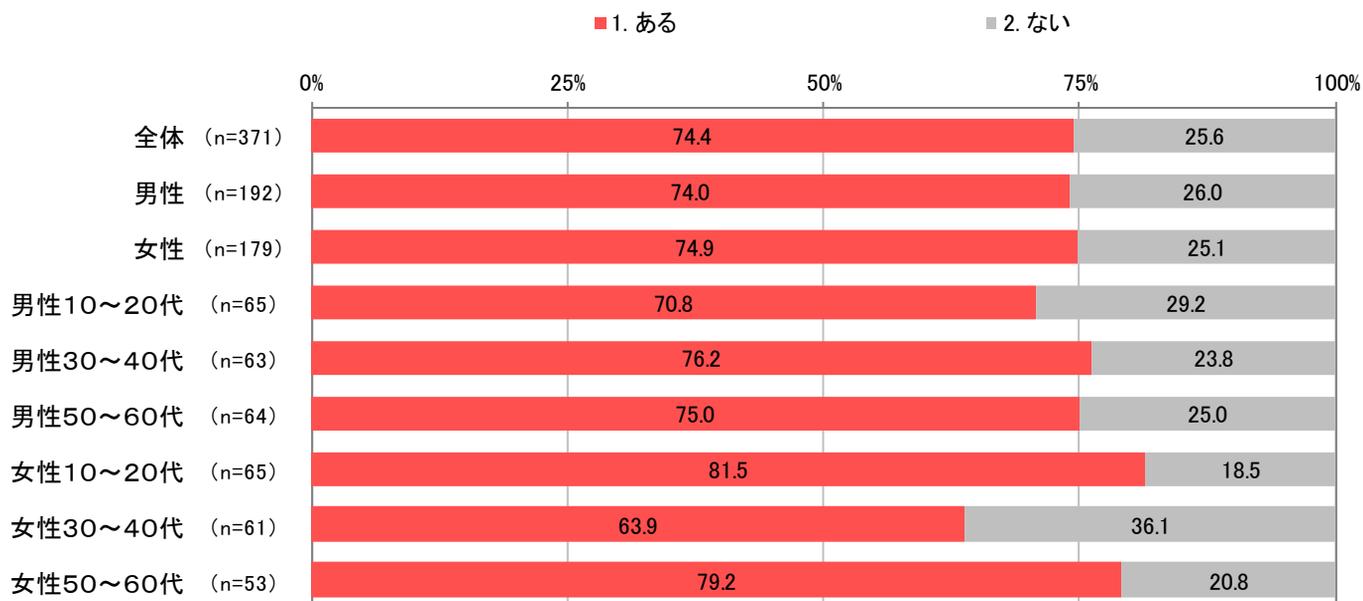


4. テレビ番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいたときの行動

テレビ番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいたとき、半分以上の人は、視聴方法を探すこともなく諦めている。

- 最近1年間で、見たかった番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいた経験の有無を訊くと、全体の74.4%が「ある」と回答した。
- 「ある」と回答した人に、そのときどうしたかを訊くと、52.5%が「探すこともなく諦めた」と答えた。番組を視聴した方法では、「Youtube、GYAO!、ニコニコ動画などの大手動画サイトで無料で見た」が16.7%で最も多く、続いて「テレビ局の公式見逃し視聴サービスで見た」が14.5%となっている。「その他の方法で見た」の具体例には「再放送を待つ」が複数挙がった。
- 女性は、男性に比べ、探すことを諦めている人が多い。

最近1年間で、見たかった番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいた経験



テレビ番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいたときに、どうしたか

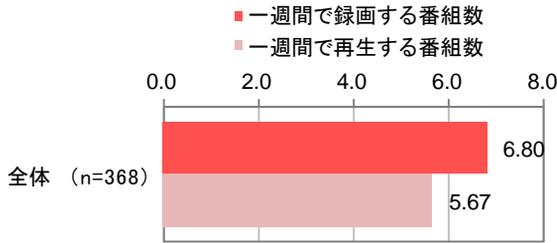
※最近1年間で、見たかった番組を録画し忘れたり、見逃したことのある人

- 1. テレビ局の公式見逃し視聴サービスで見た
- 2. dTV、プレミアムGYAO!、Hulu、Netflixなどの有料動画サイトで見た
- 3. Youtube、GYAO!、ニコニコ動画などの大手動画サイトで無料で見た
- 4. 上記ではない無料動画サイトで見た
- 5. 知人が録画したものをを見せてもらった
- 6. その他の方法で見た
- 7. インターネットや知人経由で探して見つかったが、有料、または会員登録必須だったので見なかった
- 8. インターネットや知人経由で探したが、見つからずに諦めた
- 9. 探すこともなく諦めた



結果① 平均すると1日1番組を録画し、そのうち8割強の番組が再生されている。

一週間で録画する番組と再生する番組の数

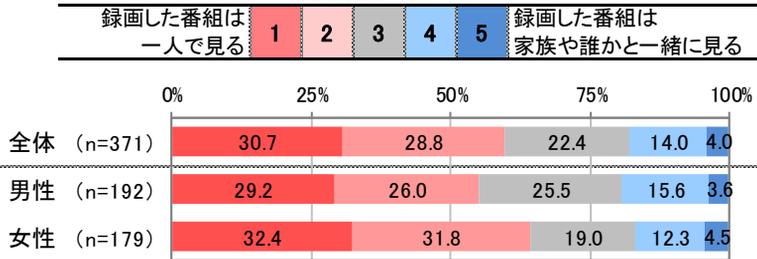


最近3ヶ月以内にテレビ番組の録画をした人の46.9%が「録画したものは、ほぼ全番組観る」と回答した。録画する番組数は1週間で平均6.80番組、再生する番組は1週間で5.67番組である。1日1番組が録画され、録画された番組の83.4%が再生されている計算になる。

結果② 好きな番組を録画し、一人で再生するが、何度も見るわけではない。

テレビ番組録画の意識(5段階)

← どちらともいえない →



テレビ番組の録画についての意識では、好きな番組はリアルタイムよりも録画して見る人が優勢だった。同様に、再生するときは一人が多かった。好きな番組を録画するとはいえ、何度も見るわけではないという傾向も見られた。また、裏番組を録画することもよりも、見られない時間帯の番組を録画しているという意識や、気になるものがあれば録画するという、録画に対してカジュアルな面も見られた。

結果③ 録画し忘れたり、見逃したことに気づいたときは、半数以上が視聴方法を探すこともなく諦めている。

テレビ番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいたときに、どうしたか(抜粋) ※最近1年間で、見たかった番組を録画し忘れたり、見逃したことのある人

- 1. テレビ局の公式見逃し視聴サービスで見た
- 3. Youtube、GYAO!、ニコニコ動画などの大手動画サイトで無料で見た
- 9. 探すこともなく諦めた



テレビ番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいたときに、52.5%の人が視聴方法を探すこともなく諦めていることがわかった。とくに女性は、6割近くが諦めている。一方で視聴した方法では「テレビ局の公式見逃し視聴サービスで見た」(14.5%)や「Youtube、GYAO!、ニコニコ動画などの大手動画サイトで無料で見た」(16.7%)が高かった。

結果から推測される仮説

■ 平均で1日1番組が録画され、そのうち8割強の番組が再生されている。「録画番組視聴時の行動篇」で、録画された番組が、平日の22時前後や休日の15時前後によく再生されていることを示したが、これらの結果から、録画と再生は1週間の中での習慣になっているといえる。また、テレビ番組の録画に対する意識から、テレビ番組の録画というのは個人的な行為となっていることがわかった。録画視聴はインターネット上の動画視聴と、意識の上でも近くなっていると考えられる。

■ 一方で、テレビ番組を録画し忘れたり、見逃したことに気づいたときに、半数以上の人が視聴方法を探すこともなく諦めている。見逃し視聴サービスの整備は進んでいるが、まだまだ視聴者が気軽に利用できる段階にはなっていないといえる。インターネットサイマルラジオのradikoでは、2016年10月11日から、放送1週間以内の番組について、再生が可能になる「タイムフリー聴取機能」の実証実験が行われる。視聴者が諦めることなく、番組を視聴してもらうためには、こうした包括的なサービスが無料で利用できることが必要になる。とくに動画サイトに奪われがちな若い視聴者の支持を得るためには重要であろう。

トピックスリサーチ

テレビ番組の録画に関する
マーケティングデータ
～録画意識と見逃し視聴篇～

発行日 2016年 9月 30日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所
〒501-0296
岐阜県瑞穂市穂積1851
TEL : 058-326-1173

お問い合わせ marketing@alice.asahi-u.ac.jp